

学校評議員会の実施報告書

ホームページへの掲載

済・未

学校名 岐阜県立長良特別支援学校

学校長 和田 俊人

所在地 岐阜市長良 1237-1 電話 058-233-7418

1 会議の名称 岐阜県立長良特別支援学校 第2回評議員会

2 会議の構成 委員 笠原 成元 東長良公民館主事
川口 隆 あじさいの家施設長
川崎 博之 長良緑町自治会長
下平 悦子 長良医療センター医療社会事業専門員
柳原 加代子 長良特別支援学校 PTA 副会長

学校側 和田 俊人 校長
安藤 邦寿 教頭
野原 敏克 事務長
前田 晴美 小学部主事
林 昭男 中学部主事
谷口 輝己 高等部主事
広井 隆司 教務主任

3 会議の目的 学校運営等について、地域の代表者や福祉・医療機関の関係者及び学識経験者から幅広く意見を聞き、その提言・助言をもとに地域社会からの支援・協力を得て「開かれた学校づくり」の推進を図る。

4 会議の開催 平成30年2月9日（金）13:30～15:00

5 会議の概要 (1) 校長あいさつ

(2) 議事

①平成29年度第1回学校評議員会後の取組について

②平成29年度の成果と課題

パワーポイントで紹介

各部の取組、各分掌の特色ある取組、児童生徒の活躍、学校行事等

③平成29年度「教育活動に関するアンケート」結果と対応 他

④教職員の働き方改革について

(3) 学校評議員からのご意見ご提言

(4) 終わりのあいさつ・連絡等

【学校評議員からの意見、提言】

①学校運営に関すること

意見1：先生が好き、学校が好きというわが子が学校に通っているが、今日の取組を聞いて、一人一人のその子の力を最大限に引き出してもらい、「改めて安心して子供を送り出せる学校である。」と感じた。

意見2：教員自身が元気であってほしい。子どもはそうした教員の姿を見て育つと思う。

普段は患者、その親というかかわり方をしているが、今日教員としてのかかわりを聞いて、勉強になった。自分の立場、学校の立場と立場は違っても、成長させて社会に出していく子供を育てるという点では同じである。病棟と学校が一層協力してサポートしていきたいと思っている。

質問：夜間、校舎の一部屋に蛍光灯が点いているがどうか。

回答：毎年いくつかの学校で盗難事件が発生している。少しでも盗難防止に意味があるだろうと考え点けている。

②教育活動に関すること

意見1：本日の各部の取組で、児童生徒を積極的に外に出していることが紹介されていたが、将来につながる良い取り組みである。自分たちも「ちょっと外出」を年間20回近くやっているが、こういった取組は社会性を身に付けることにつながる。

意見2：本校と普段のかかわりは少ないが、今日の紹介を見てこれだけいろいろな取組をやっていることが分かり、驚き、感心している。今後も地域社会とかかわって独り立ちできるようにして頑張ってもらいたい。

③その他

意見1：私の校区の小学校・中学校も遅くまで仕事をされていて、ある意味でブラック企業と言えるかもしれない。本日、働き方改革として岐阜県の教員の労働時間に関する資料が出されたが、教員が充実した生活を送り、魅力的であることが、児童生徒にとって大切な事である。

意見2：働き方改革は、自分たちも取り組んでいる。現在は社会労務士と協力しながら服務規程を変えようとしている。(例えば、リフレッシュ休暇、誕生日休暇、年休の消化、パートの年休取得促進、ドライバーの年休、休憩時間など。)今の世の中の情勢から、リフレッシュして、その分子供に目を向けていくようにしている。

意見3：民間企業でも現在、働き方改革に取り組んでいる最中である。